

2017年度（平成29年度） 事業報告

公益財団法人 佐倉国際交流基金

2017年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

I. 事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講演会（佐倉市と共催）

・テーマ：「権力とマス・メディア」

講師：大石 泰彦氏（青山学院大学法学部 教授）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：2017年6月17日（土）

来場者：250名

・テーマ：「三国志の教訓——強多弱の対抗軸」

講師：渡邊 義浩氏（早稲田大学文学学術院 教授）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：2017年10月14日（土）

来場者：250名

2) 佐倉市国際文化大学

国際政治・経済・文化等をテーマに年間20回に亘る通常講座と2回の公開講座（上記を参照）を開催した。募集100名に対し、111名の応募があったが、公開抽選は行わなかった。最終的な受講申し込み者は106名であった。講義録を基金のホームページで公開した。

講師：大学教授等専門領域の有識者

場所：佐倉市中央公民館・志津コミュニティセンター等

開催日：5月～11月の土曜日

受講生：106名 修了者 98名、皆勤者 17名

延べ受講者数：1,873名（出席率 84.3%）

講座内容：

5/6 開講式／人口減少の課題、少子化対策の本気度は（加藤久和先生）

5/20 ブラジルは何処へ行く（近田亮平先生）中央公民館

5/27 人間と人工知能（AI）の共働（中田秀基先生）中央公民館

6/3 介護漂流社会（山口道宏先生）中央公民館

6/10 世界の民主主義と平和的秩序の行方—世論調査の動向を踏まえて—（工藤康志先生）

中央公民館

6/17（公開講座）権力とマス・メディア（大石泰彦先生）志津コミセン

- 6/24 'IoT時代の日本及び日本企業をどう方向付けるか (小川紘一先生)中央公民館
- 7/1 中国の新5か年計画―守りから攻めの改革はどうか― (柯隆先生)中央公民館
- 7/8 地政学と世界観 (茂木誠先生)中央公民館
- 7/15 安全保障法制の問題―防衛の現場から― (渡邊隆先生)中央公民館
- 7/22 シティプロモーションで地域の活性化 (桜井 篤先生)中央公民館
- 7/29 国際人口移動と移民政策 (林玲子先生)中央公民館
- 9/2 民法改正で暮らしはどう変わる (西口元先生)中央公民館
- 9/9 ポスト・オバマのアメリカ―アメリカの真の強さとは何か― (渡辺靖先生)中央公民館
- 9/16 ASEAN 経済統合と将来展望 (石川幸一先生)中央公民館
- 9/30 大学の教育改革―東工大の試み― (室田真男先生)中央公民館
- 10/7 南海進出は鄭和、永楽帝時代からのDNAか (宮崎正勝先生)志津コミセン
- 10/14 (公開講座) 三国志の教訓―強多弱の対抗軸― (渡邊義浩先生)志津コミセン
- 10/28 木造高層建築の夢 (腰原 幹雄先生)志津コミセン
- 11/4 インパクト投資―国際的な社会貢献に対する意識の高まり― (伊藤健先生)
志津コミセン
- 11/11 ゼミ自由研究発表会 臼井公民館
- 11/25 我が国の財政政策―成長至上主義でよいのか― (岩本康志先生) / 修了式
志津コミセン

- 3) 佐倉国際スピーチコンテスト (佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)
国際交流意識の啓発を目的に中学生の英語スピーチコンテスト、小学生の英語スピーチ、並びに外国人の日本語スピーチを実施した。

開催日：2017年10月22日 (日)

場 所：ミレニアムセンター佐倉

出場者：中学生 レシテーション 23名

中学生 スピーチ 9名

小学生 50名

外国人 3名

テーマ：自由、審査対象は中学生のみ

表彰：

スピーチの部

第1位 呉本 欣美 専修大学松戸中学校 (2年)

第2位 渡邊 駿太 上志津中学校 (1年)

第3位 柳川 真有 専修大学松戸中学校 (3年)

レシテーションの部

第1位 石割 根夢 佐倉東中学校 (3年)

- 第2位 長 希光華 専修大学松戸中学校 (2年)
第3位 里舘 海咲 千葉大学教育学部附属中学校 (2年)
鈴木 更彩 臼井中学校 (1年)
涌井 咲良 富里市立富里中学校 (3年)

審査委員：大学英語講師・A.L.T・高校英語教師

来賓 3名、

当日運営スタッフ：

- 審査員 3名、MC 1名、
運営委員 1名、
当日ボランティア 8名、
佐倉市役所 3名、事務局 3名

4) イングリッシュサロン

ネイティブの外国人と英語によるコミュニケーションを体験することにより、英語力向上のきっかけを得るとともに、体験活動を通じて、多文化共生と国際交流感覚を醸成することを目的として開催した。

3人の外国人が進行役として、それぞれ金曜日と火曜日に年間それぞれ20クラス担当し、年間120クラス、定員134名の予定に対し、134名が応募したが、実際の参加者は130名であった。進行役外国人の急病のため、1日だけ合同クラスとしたため、年間クラス数は、118クラスであった。1年を通して、運営委員会が活発に活動し、自主クラスやクリスマス会を開催した。

開催日数 金曜日 10回・ファシリテーター 3名 (合計60クラス)

火曜日 10回・ファシリテーター 3名 (合計58クラス)

年間 118クラス

参加者 延べ956名(2016年度は、72クラス 705名)

出席率 76.3%

ファシリテーター(進行役) 3名

運営委員 8名

5) 佐倉国際交流のつどい

財政難のために開催を中止したが、日本語講座として、日本語講座のつどいを実施した。

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。2017年度に助成金を交付した団体と事業は下記のとおりである。

団体名	事業名	助成金
佐倉ポルトガル語同好会	佐倉ポルトガル語同好会	14,000
中国語中級会話同好会	中国語中級会話学習	6,000
OK さくら	垣見一雅さん帰国講演会	20,000
佐倉中文会	中国語の学習及び中国との交流活動	10,000
佐倉日蘭協会	佐倉オランダ児童交流	40,000
日中友好協会	草の根交流	40,000
佐倉ジュニア合唱団	台北国際合唱節への出演	40,000

(助成金合計 170,000 円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

市内在住の外国人を対象に日本語で意思疎通が可能となるよう 日常会話を中心とした講座を開催した。2017年度から、毎週土曜日に小中学生を対象としたクラスを開設した。また、日本語講座受講の外国人が日頃の勉強の成果を発表する場として「日本語講座のつどい」（日本語スピーチと母国文化の紹介）を11月19日（日）に中央公民館で開催した。外国人約80名を含め、全体で約120名の参加があり、成功裏に終了した。

(1) 開講クラス

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）
*ベビーシッター制度あり
会場：志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日(午前 1クラス)
会場：レインボープラザ佐倉
- ・毎週日曜日(午前 合計3クラス)
会場：中央公民館、レインボープラザ佐倉
- ・毎週土曜日(午前 合計1クラス)

*小中学生対象クラス

会場：千代田・染井野ふれあいセンター

(2) 事業状況 (カッコ内は、2016年度の実績値)

受講者 年間合計 2,257(2,090)名

出身国 27か国(地域)

中国, 韓国, 台湾, フィリピン, タイ, インドネシア,
ベトナム, イラン, ネパール, アフガニスタン, スリランカ,
ロシア, ブラジル, ペルー, コロンビアなど

年間クラス 年間合計 366(333)クラス

日本語ボランティア 年間合計 758(613)名

(ボランティア数 平均21名、コーディネーター 7名)

ベビーシッター 年間合計 189名

2) 外国人のための生活相談

英語、スペイン語、中国語、合計5名の相談員と交流基金事務局員が、電話及び面接による相談を実施するとともに、学校や病院での通訳、あるいは子育て支援などの文書の翻訳などの外国人支援活動を実施した。相談だけでなく、佐倉市担当部課と協力して外国人への直接支援活動を行っている。

相談員：英語2名、中国語1名、スペイン語1名、事務局員3名

相談員交流会議：年間12回

相談・支援件数：83件

内容別件数：日常生活(11)、医療・保健(8)、日本語(53)、住居(0)、子供(13)、法律(4)、その他(1)、

言語別件数：日本語(68)、英語(4)、スペイン語(9)、中国語(3)

(注) 1案件に複数の相談内容があるので、件数に差異がある。

主な生活相談・支援 (カッコ内は、支援した外国人の国名)

4月 障害福祉サービス打合せの通訳(ペルー)

病院での通訳(ペルー)

ベビーシッターの保険説明資料翻訳(英語、スペイン語、中国語)

学校への提出書類の説明(ペルー)

生活支援、日常生活に関する相談(フィリピン)

5月 生活支援に関する打ち合わせの通訳(ペルー)

日本語講座申込書の翻訳(英語、スペイン語、中国語)

6月 生活支援に関する打ち合わせの通訳(ペルー)

金銭トラブルの相談(中国)

生活支援の提出書類の説明(ペルー)

- 8/9月 日本語講座に関する問い合わせが増加
(スリランカ、ベトナム、インドネシア、中国、アフガニスタンなど)
- 11月 出生証明書などの翻訳(スリランカ)
自国の古い生活様式、生活道具を日本人に紹介したい(ネパール)
就業契約の更新、自動車保険金支払い、学校関係書類などの説明(ペルー)
- 12月 高校受験の相談(中国、アフガニスタン)
- 1月 高校受験のための学業支援(中国、アフガニスタン)
受験校選択の相談(中国)
- 2月 生活保護の説明通訳(ペルー)
履歴書作成支援(イラン)
通知表の説明、履歴書作成支援(ペルー)
金銭的相続の相談(フィリピン)

4. その他 附帯事業

1) 国際交流ボランティア活動

国際ボランティアバンクを通して、国際交流活動を支援した。

2) 後援事業

下記事業を後援した。

- ・房総日本語ボランティアネットワーク主催
「日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス」
- ・佐倉日蘭協会主催
オランダ事情講演会「オランダと日本—交流の歴史とこれから」
- ・言語交流研究所 ヒップファミリークラブ
親子で参加できる講座、親子で参加できるワークショップ

3) 機関誌の発行

基金 LETTERS を発行(7月・12月)し、事業の実施状況、賛助会員、ボランティアの活動などについて紹介した。

2017年7月発行

主な記事

- 2017イングリッシュサロン
- 2016年度事業報告・収支報告
- 日本語講座・生活相談の案内
- D I C川村記念美術館、国立歴史民俗博物館の催し物紹介
- 賛助会員紹介「佐倉ライオンズクラブ」
- 賛助会員一覧

2017年12月発行

主な記事

日本語講座のつどい

佐倉国際スピーチコンテスト

D I C川村記念美術館、国立歴史民俗博物館の催し物紹介

賛助会員紹介「佐倉読売サービスセンター」

賛助会員の案内

生活相談の案内

4) ホームページの活用

基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

以 上

<参考資料>

1. 賛助会員数 (2018年3月31日現在)

個人会員	217人(245人)
外国人	3人(4人)
団体会員	7団体(8団体)
法人会員	12法人(12法人)

()は昨年度の実績

2. ボランティアバンク登録者数

2018年3月31日現在

日本語講師		161(132)
通訳・翻訳		
内 訳	英 語	171(156)
	スペイン語	29(27)
	ポルトガル語	14(14)
	中国語	42(41)
	フランス語	15(14)
	インドネシア語	7(5)
	ロシア語	4(4)
	タイ語	7(7)
	スウェーデン語	1(1)
	ドイツ語	6(6)
	韓国語	15(15)
	タガログ語(リサヤ語)	2(2)
	イタリア語	3(2)
スリランカ語	2(2)	
ホームステイ・ビジット		54(53)
イベント手伝い		212(193)
ベビーシッター		37(32)
車の運転		35(32)
その他		104(94)

()は昨年度数

3. 役員、評議員に関する事項

(1) 役員・評議員名簿

役員（理事・監事） (2018年3月31日現在・敬称略)

役員名	氏名
理事長	宍倉 昌男
副理事長	熊谷 隆夫
常務理事	石塚 孝男
理事	今村 公蔵
理事	岡村 美智子
理事	下條 義昭
理事	鈴木 博
理事	高橋 満
理事	山岡 みち代
監事	石渡 孝
監事	松井 駿介

任期 2017年6月8日から2019年評議員会まで

評議員 (2018年3月31日現在・敬称略)

	氏名
評議員	大川 靖男
評議員	横井 健一
評議員	久留島 浩
評議員	佐久間 文麗
評議員	角田 和弘
評議員	長谷川 稔
評議員	藤崎 言行
評議員	堀川 義勝
評議員	山田 朝子

任期 2015年6月10日から2019年評議員会まで

(2) 役員会等

☆定例理事会（役員会） 2017年5月19日（金）

議題

- ・第1号議案 2016年度事業報告について
 - ・第2号議案 2016年度決算報告について
- 監事より監査結果の報告

- ・第3号議案 2017年度助成金交付について
- ・第4号議案 2017年度評議員会開催について

役員数 11人（理事9人 監事2人）
 理事出席数 7人 監事出席数 1人
 議決結果 原案どおり可決

☆臨時理事会（役員会） 2017年6月8日（木）
 議題

- ・第1号議案 代表理事選定について
- ・第2号議案 執行理事選定について

役員数 11人（理事9人 監事2人）
 理事出席数 9人 監事出席数 2人
 議決結果 原案どおり可決

☆定例理事会（役員会） 2018年3月9日（金）
 議題

- ・第1号議案 2017年度事業計画について
- ・第2号議案 2017年度予算案について

役員数 11人（理事9人 監事2人）
 理事出席数 8人 監事出席数 2人
 議決結果 原案どおり可決

★評議員会 2017年6月8日（木）

議題

- ・第1号議案 2016年度事業報告について
- ・第2号議案 2016年度決算報告について
 監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 理事の選任について

評議員数 9人 評議員出席数 5人
 議決結果 原案どおり承認

◇三役会

- ・第1回 三役会 2017年4月13日（木）
 2016年度事業報告・決算報告

2017年度定例理事会・評議員会の日程と議案

- ・第2回 三役会 2017年7月13日（木）
事業執行状況・予算執行状況
30周年記念行事の打合せ
- ・第3回 三役会 2017年8月24日（木）
財政問題（佐倉市の対応状況）
30周年記念行事の方針、内容
- ・第4回 三役会 2017年11月10日（金）
各事業執行状況と課題
千葉県国際交流協会連絡協議会への対応方針
30周年記念事業の方向、内容、予算の再検討

○その他会議・監査など

- 2017年4月21日（金）監事による監査
- 2017年8月24日（木）運営委員長交流会議
- 2017年9月25日（月）佐倉市監査

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
平成29年4月1日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	1,500,000円

5. 寄附金、協賛金等

（1）寄附金ご協力者（敬称略）

氏名	寄附金額	受取日
岡村 美智子	30,000円	2017年10月30日

寄附金は、「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益（寄付金・協賛金）とした。

（2）協賛金ご協力者（敬称略）

氏名	金額	協賛いただいた事業
佐倉ライオンズクラブ	20,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

6. 公益法人としての諸手続き

2017年6月20日 事業報告等の電子申請

2017年8月1日 変更届の電子申請

役員変更(理事、監事の交代)

2018年3月22日 事業計画等の電子申請